

科目No.	159	科目名	化学物質総合管理学事例研究2	サブネーム	食のリスク管理事例研究		
共催機関/連携機関	主婦連合会/化学生物総合管理学会	レベル	基礎	講義日時	木曜日 18:30~20:00	講義場所	主婦会館
科目概要	2003年の食品安全基本法の制定を期して我が国の食品安全行政は大きな転機を迎え、科学を基本としたリスク評価をもとに管理し情報交換するというリスク分析を柱とする施策に方向転換した。行政のみならず、産業界、学界、一般市民においてもリスク分析によって進められる総合的な食のリスク管理へ取り組みつつある。一方、食料の60%以上を海外に依存する我が国にとっては、世界の潮流に遅れず、国際的な調和をも要求されることとなった。本講座では新たに始まったリスク分析について、事例研究をもって論じる。						

サブタイトル	No.	講義名	講 義 概 要	講義日	教室	講師名	所属
食と健康	1	食と生活習慣病	食は生命を維持するために必要不可欠である。一方、食の過剰摂取や不必要なダイエットによる健康障害が見られる。食が内在するリスクファクターとベネフィットについて論じ、健康な長寿社会の実現を目指す方策を考察する。	8月28日	主婦連合会 会議室 (JR四谷駅 前主婦会館 内)	桑田 有	明治乳業
食中毒と天然毒	2	食中毒と天然毒	わが国における食中毒の原因としては天然物由来によるものが多い。食品に含まれる天然の毒性物質について、そのリスクと管理について論じる。	9月4日		西島基弘	実践女子大学
	3	食品媒介感染症	現在のわが国及び諸外国における食品媒体感染症の実態、感染機序、リスク管理を明らかにするとともにその予防対策について論じる。	9月11日		桑原祥浩	女子栄養大学
	4	牛海綿状脳症(BSE)	牛海綿状脳症(BSE)と人による新変異型クロイツフェルト・ヤコブ症が発症するリスクについて論じる。わが国と諸外国におけるリスク管理のアプローチの相違についても考察する。	9月18日		唐木英明	東京大学名誉教授
	5	有害微生物	食品を腐敗させたり、人の健康を損ねたりする微生物についての事例を紹介する。また、微生物の有効な検出法を駆使した微生物リスク評価のための予測微生物学について紹介する。	9月25日		天野典英	サントリー
食品化学とリスク管理(1)	6	食品添加物	現代の食生活の中では食品添加物の使用は無視できなくなっている。食品添加物について、そのリスク評価のあり方を論じるとともに、安全性を保證する食品添加物の一日摂取許容量(ADI)の意味と使用基準のかかわりを考察する。	10月2日		高野 靖	日本食品添加物協会
	7	食品香料	食品香料は食品にごく微量使用される。この様な微量の添加物について国際的な評価法の原則とわが国におけるリスク評価、管理の現状を論じる。	10月9日		岡村弘之	長谷川香料
	8	食品加工における成分変化	食品加工における成分の変化についてリスク管理の観点で考察する。近年欧米で話題となったアクリルアミドについて、そのリスク評価と管理の国際的な協調体制の中で取り組みが進められている。その枠組みと対応についても論じる。	10月16日		安藤 進	バイオヘルスリサーチ
	9	残留農薬	食品に残留する農薬について、リスク管理のあり方を論じるとともに、わが国で導入された残留農薬ポジティブリスト制度について健康影響の観点で検証する。	10月23日		武居綾子	イカルスジャパン
	10	食物アレルギー	食物アレルギーは、特定の人と特定の食品成分の間の特殊なかかわりで発症し、時には重篤な事態を招く。食物アレルギーの機序と原因、予防手段としての表示制度のあり方について論じる。	10月30日		丸井英二	順天堂大学
新技術・新製品とリスク管理(1)	11	照射殺菌	食品の有効な殺菌法として国際的に普及しつつある食品の照射殺菌技術について、その基本と照射殺菌した食品のリスク評価、管理について論じる。	11月6日		小林泰彦	日本原子力研究開発機構
食品化学とリスク管理(2)	12	容器包装	加工食品の多様化により食品容器も多種多様化してきた。軽量で便利なプラスチック容器についての現状とそのリスク評価、管理について論じる。	11月13日		阿南幾代	ポリエチレン衛生協議会
	13	飲料水	安全な飲料水であるはずの上水道の水質に対する懸念から、ミネラルウォーターの人氣が高まっている。飲料水のリスク評価および管理について論じる。	11月20日		峯 孝則	日本ミネラルウォーター協会
新技術・新製品とリスク管理(2)	14	モダンバイオテクノロジー	モダンバイオテクノロジー技術により、品種改良した農作物が実用化され、世界の食糧事情の変化が起こっている。これら農作物のリスクの評価法が国際的な議論を経て確立された。リスク評価の原則と評価法、管理について論じる。	11月27日		山根精一郎	日本モンサント
	15	健康食品とサプリメント	サプリメントを含む健康食品については保健機能食品の表示制度を除いて法制上非常にあいまいな存在にある。健康志向により多用、誤用されて健康被害を生じた事例も見受けられる。健康食品のリスク評価、管理について論じる。	12月4日		末木一夫	NNFAジャパン

2008/8/4 講義No.3の講師変更。2008/8/18 講義No.4,5の唐木講師と天野講師の講義日程入れ替え、講義No.11,13の峯講師と小林講師の講義日程入れ替え。2008/8/25講義No.8,9の安藤講師と武居講師の入れ替え

